

**令和3年度山梨大学教育学部附属中学校  
スキルアップ講座**

○「学びについての調査」(田中健史朗准教授による分析)

\* 調査結果の詳細は、本校HPに掲載

## 調査の概要

○次の3つの観点から調査するもの。

▶ 学習におけるメタ認知活動

(現在の学習状況を考慮し、後の学習の進行を調整する方略)

▶ 学習に対する動機づけ (やる気)

▶ スクールエンゲージメント

(学校生活における様々な活動への主体的で積極的な関与や心理状態)

## 結果の概要

良さに関わるもの：**自律的動機づけが高い水準**

○自律的な学習動機とされる「同一化的調整」の値が全体的に高い。

・該当する質問項目

Q.あなたの学習する理由についてお尋ねします。以下の項目は、あなたが学習する理由にどのくらいあてはまりますか。

将来の成功につながるから。

自分の夢を実現したいから。

自分の希望する高校や大学に進みたいから。

自分のためになるから。

学習するということは大切なことだから。

## 結果の概要

課題に関わるもの：**内発的動機づけに伸びしろがある**

○「同一化調整」は高いが、同じく自律的な学習動機とされる「内的調整」の値がそこまで高くない。

・該当する質問項目

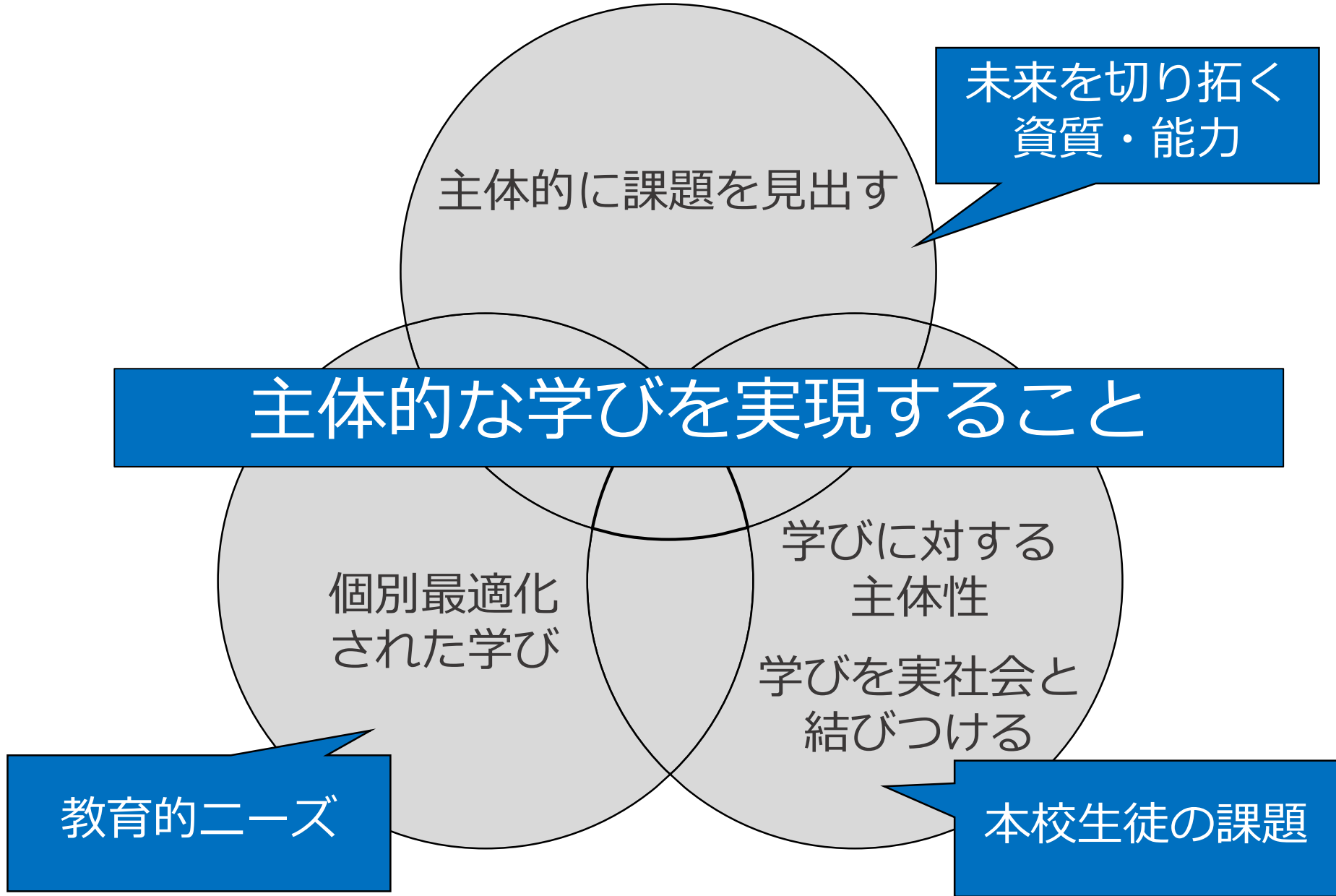
Q.あなたの学習する理由についてお尋ねします。以下の項目は、あなたが学習する理由にどのくらいあてはまりますか。

問題を解くことがおもしろいから。

学習すること自体がおもしろいから。

新しい解き方や、やり方を見つけることがおもしろいから。

自分が学習したいと思うから。



## エンゲージメントが高められた学びの姿

ポイント① 粘り強く学習に取り組む

ポイント② 自己調整しながら学ぶ

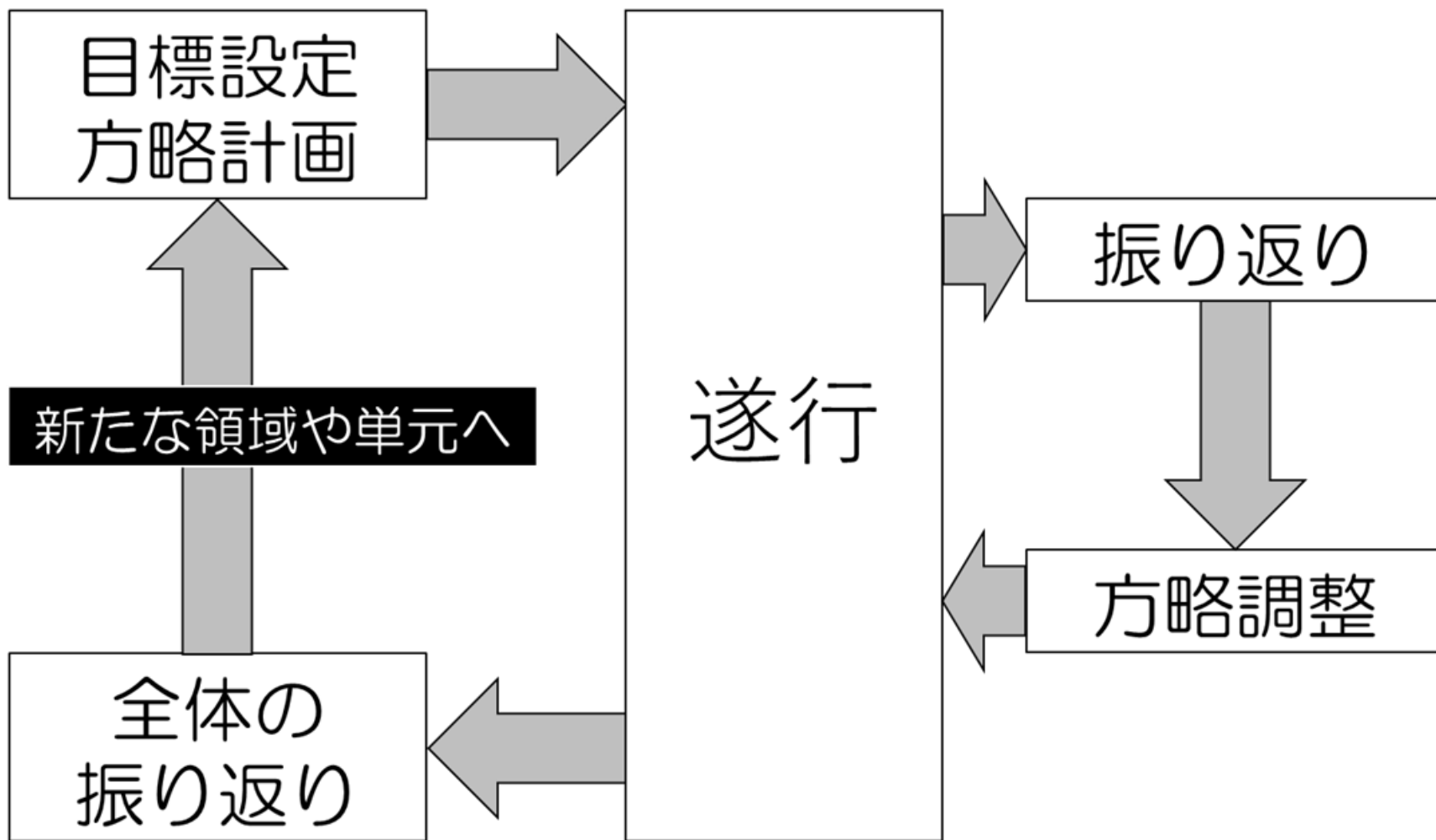
## ○エンゲージメントとは

課題に**没頭**して取り組んでいる心理状態

認知的	学びの質を高めようとする働き、自律性。
行動的	見える形で現れる、没頭する姿。
感情的	学びに関するポジティブな感情。

## ○エンゲージメントに着目する意義

「生徒の学び」の到達地点だけでなく、生徒の内面で繰り広げられている「**学び**」そのものの様子を把握することができる。





### ○評価規準の設定

資料Ⅱの枠組みをベースに各教科で設定

\* プロセスモデルに基づいたもの

\* プロセスモデルのうち、重点的に取り組む学習過程を決め、それに基づいて単元の評価規準を設定

### ○評価材の工夫

振り返りのワークシートを中心に工夫

### ○「C」評価の生徒への支援

B評価に高める手立ての工夫